

「働く人の人権」新聞で学ぶ

栗東高 本紙記者が授業

「働く人の人権」をテーマに話す
目黒記者(栗東市小野・栗東高)



学校の教育現場で新 黒重幸記者が「働く人 聞を活用する「NIE」の人権」をテーマに講 演し、長時間労働や非 (教育に新聞を) の授 業が1日、栗東高(栗 東市小野)であった。 京都新聞滋賀本社の目 黒重幸記者が、栗東市小野の栗東高等学校で、11月2日(木)、「働く人の人権」をテーマに講演した。黒重記者は、新聞社などをつくる「NIE」の活動に力を入れる同校の生徒らに、長時間労働や非正規雇用に関する問題について、3年生の約200人が聴講した。

精神的な豊かさをテーマに作った「まわしよみ新聞」を発表する生徒たち(栗東市小野・栗東高)



豊かな精神記事から学ぶ

栗東高でNIE公開授業

教育に新聞を活用するNIEの公開授業が16日、栗東市小野の栗東高で開かれた。記事を切り抜いて作る壁新聞「まわしよみ新聞」を、「精神的な豊かさ」をテーマに1年生が作って発表、記事を引用しながら自身の考えを説明した。

栗東高と、教育関係者や新聞社をつくる県NIE推進協議会が実施した。三木由美子教諭が、国語の教科書に掲載される評論「ものづくり」の文章が求める精神的な豊かさを新聞から学んでみようという提案した。生徒は班に分かれて作ったまわしよみ新聞を掲示。地域医療に取り組み医師の話やフィットネスで介護予防に取り組み試み、自然と暮らす喜びをもたらす森の再生など、さまざまな切り口で考えを発表した。西村澁太さん(16)は「さまざまな新聞記事が集まり、人によって精神的な豊かさへの考えが違ってくるのがよかったです」と話した。(松田規久子)

新聞社などをつくる

「NIE」の活動に力を入れる同校の生徒らに、長時間労働や非正規雇用に関する問題について、3年生の約200人が聴講した。

目黒記者は、新人女性社員が過労自殺した

記事を利用して説明した。

電通事件の報道を題材に、長時間労働やパワーハラスメントがもたらす問題を紹介。非正規雇用の現状や「働き方改革」の議論も新聞

堀之内亮さん(18)は「仕事より健康や命が大事だと学んだ。働き方に関するニュースに気をつけたい」と話していた。(西田昌平)

方改革」の議論も新聞